

2017年度エネルギー使用量

	4～3月	対前年度 同期比	対2008年度 (基準年度) 同期比	※第2期 環境目標	※年度目標
電気使用量	5,751,572 kwh	95.8%	74.7%	89.8%以下	89.8%以下
ガソリン使用量	3,558 ㍓	103.0%	102.9%	115%以下	115.0%以下
灯油使用量	44,187 ㍓	141.3%	82.7%	95%以下	95.0%以下
都市ガス使用量	478,238 m3	102.8%	99.1%	90%以下	90.0%以下
上水道使用量	19,479 m3	119.5%	97.6%	90%以下	90.0%以下
下水道使用量	16,490 m3	104.7%	105.9%	90%以下	90.0%以下
二酸化炭素排出量	4,314,430 kg-co2	97.5%	78.9%	90%以下	90.0%以下
廃棄物発生量	27,696 kg	98.0%	123.1%	125%以下	125.0%以下

※第2期環境目標は、2008年度を基準年度とし、2017年度を目標年度としている。（2012～2017年度）

※第3期環境目標は、2013年度を基準年度とし、2023年度を目標年度としている。（2018～2023年度）

2018年度 環境方針に基づく取組

1 2018年度重点推進項目

- (1) 都市ガス使用量の削減
冷暖房の温度（冷房28℃、暖房19℃）を遵守し、運転の延長申請は真に必要な場合のみ行うこと。
エネルギーの無駄削減のため、冷暖房中は、窓や出入口戸を開放しないこと。
- (2) 節水の徹底
上下水使用量を削減するため、水道を使用する場合は、出しっぱなしにせず節水に努めること。
トイレの洗浄水が流れ続けていることに気づいた場合は、施設係等に連絡すること。
- (3) 外注印刷物の再生紙使用
印刷物を外注する場合は、原則として再生紙使用を条件とし、受注者と十分に打ち合わせを行うこと。
- (4) 廃棄物の減量化、リサイクルの推進
ゴミを出す場合は分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めること。
 - ① アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビンは、所定の「ゴミ収集ボックス」に入れること。
とくに、ペットボトルのラベルは燃えるゴミに入れ、キャップは回収専用箱へ入れること。
 - ② シュレッダーの使用は必要最小限な物に限り、リサイクルに努めること。
 - ③ 段ボール、新聞紙、雑誌、折り込み広告、コピー用紙（秘密事項や個人情報に掲載されているものは除く）は、燃えるゴミに混ぜず、分別すること。
※学内のゴミの排出方法は、以下をご覧ください。
（日本語） http://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/gad/faci01_j.html
（英語） http://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/gad/faci01_e.html
- (5) 節電の徹底
 - ① 室内では必要最小限の照明を点灯すること。
 - ② 長時間使用していないパソコン、プリンター等の電源はオフにすること。
 - ③ カードリーダーが設置された部屋を退室する場合は、空調が自動的にオフになる「警戒設定」にすること。
- (6) コピー用紙購入量の削減
使用済み用紙の裏面コピーや両面コピーの徹底、ペーパーレス会議の実施、会議資料の見直しに努めること。

2 2018年度の新たな取組

シュレッダーのゴミはリサイクルするため、燃えるゴミと分別しビニール袋に入れて出すこと。
セロハン紙、感熱紙、カーボン紙、写真等シュレッダーゴミ以外のゴミは、リサイクル出来なくなるのでビニール袋に入れないこと。

3 「公立大学法人会津大学 環境方針」、「環境目標達成状況」、「第2期環境目標」「第3期環境目標」については、以下のページからご覧になれます。

（日本語） <http://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/corporate/>
（英語） <http://www.u-aizu.ac.jp/en/intro/outline/corporate/>